

ApeosWare Management Suite 2 移行ガイド

ご注意

- ①このマニュアルの編集、変更、または無断で転載はしないでください。
- ②このマニュアルに記載されている内容は、将来予告なしに変更されることがあります。
- ③このマニュアルに記載されている画面やイラストは一例です。ご使用の機種やソフトウェア、OS のバージョンによって異なることがあります。

「マニュアルと付属ツールについて」、「本書の表記」、および商標については、『セットアップガイド』を参照してください。

富士フイルムビジネスイノベーションに対するご意見、ご相談などは、お客様相談センターにご連絡ください。

フリーダイヤル 0120-27-4100

フリーダイヤル受付時間：土、日、祝日、および弊社指定休業日を除く 9～12 時、13～17 時

フリーダイヤルは、海外からはご利用になれません。また、一部の IP 電話からはつながらないことがあります。

お話の内容を正確に把握するため、また後に対応状況を確認するため、通話を録音させていただくことがあります。

インターネットホームページで商品情報を提供しています。

アクセス先は、https://www.fujifilm.com/fb/product/software/aw_manage_suite です。

もくじ

もくじ.....	2
----------	---

1 アップデートインストール

概要	3
アップデートインストールの流れ	3
ライセンス認証について	3
注意事項	4
旧バージョンの環境をバックアップする	4
事前準備	4
フローを無効にする	5
ツールを終了する	5
アップデートインストールする	5

1 アップデートインストール

ApeosWare Management Suite 2.0 以降のバージョンから、ApeosWare Management Suite 2.2 へのアップデートインストールについて説明します。

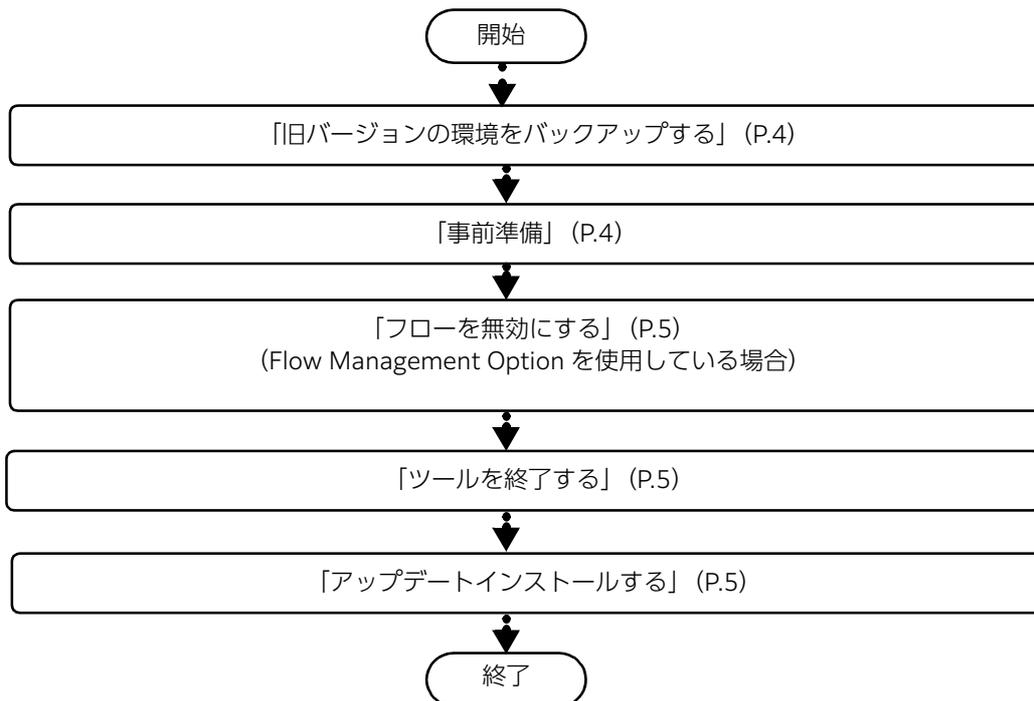
概要

アップデートインストールとは、インストールされている ApeosWare Management Suite のバージョンを新しいバージョンにアップデートすることです。

アップデート前のバージョンで設定した情報は、アップデート後も保持されます。登録したユーザーや機器、サーバーの設定など、アップデート後も引き続き使用できます。

アップデートインストールは、ApeosWare Management Suite 2.2 のインストールメディア (DVD-ROM) に同梱されている「Launcher.exe」で実行します。

アップデートインストールの流れ



ライセンス認証について

アップデート前のシリアル番号を、アップデート後も継続して使用できます。

アップデート前のバージョンになかったオプション機能を追加する場合は、新しくシリアル番号が必要です。シリアル番号の取得については、弊社担当者までお問い合わせください。

注意事項

- 使用する言語は変更できません。前バージョンと同じ言語を選択してアップデートインストールを実施してください。
- ApeosWare Management Suite のエディションは変更できません。
- サーバー構成は変更できません。分散構成の場合は、各サーバーのソフトウェアをすべてアップデートしてください。
なお、下記システム構成でのバージョンアップは対応しておりません。ご注意ください。
 - ・冗長化構成（Cold Standby 構成 / N システム構成 / ロードバランサー構成 / MSFC 構成 など）



オールインワン構成の Cold Standby 構成 / N システム構成の場合は、本手順に従って、それぞれの PC でバージョンアップと移行作業を行い、再度システムを構成しなおすことで対応できます。

- SQL Serverはアップデートできません。DVD-ROMに同梱されているSQL Serverのインストーラーを使用してSQL Server をアップデートしないでください。
- アップデートインストールの作業中は、サービスの停止や PC の再起動が必要になるため、一時的にApeosWare Management Suite を使用できなくなります。業務時間中など、ApeosWare Management Suite を使用する時間に作業する場合は、ご注意ください。
- アップデートインストールのあと、Update Service を使用して、ApeosWare Management Suite 2.2 の最新パッチプログラムを適用してください。

旧バージョンの環境をバックアップする

アップデートは、ApeosWare Management Suite の情報を保持したまま実行されますが、情報が失われるリスクを軽減するため、アップデートする前に必ずバックアップを実施してください。

アップデートインストールに失敗した場合には、復旧するためにバックアップデータが必要になることがあります。



『導入・運用ガイド』の「バックアップとリストア」

事前準備

アップデート前の環境を、2.1.4 にバージョンアップする

アップデート前の ApeosWare Management Suite が、2.1.4/2.1.4.1/2.1.4.2 でない場合は、2.1.4/2.1.4.1/2.1.4.2 までバージョンアップしてください。



アップデート可能な対象バージョンは、2.1.4.0 ~ 2.1.4.2 までです。
このバージョン以降にはアップデートしないでください。

PC の環境を確認する

旧バージョンと、アップデート後のバージョンで、必要な環境が異なることがあります。

アップデートする PC が、アップデート後のバージョンの要件を満たしているかどうかを確認します。

また、次のサービスが起動していることを確認します。

- SQL Server ({インスタンス名})

- SQL Server Browser



参照

『セットアップガイド』の「必要な環境」

ウイルス対策ソフトウェアを停止する

ウイルス対策ソフトウェアが起動している場合、アップデートインストールの作業中は停止することをおすすめします。

フローを無効にする

Flow Management Option を使用している場合は、次の手順でフローを無効化します。

1. 実行中のジョブがある場合は、終了するのを待つかジョブを削除して、実行中のジョブがない状態にします。
2. [フロー一覧] ページで、すべてのフローを無効にします。



参照

『ApeosWare Management Suite 2 機能ガイド Flow Management Option 編』（以降、『機能ガイド Flow Management Option 編』と記載します）

ツールを終了する

ApeosWare Management Suite の各サーバー、Web クライアント、印刷クライアントで、次のツールが起動している場合は、すべて終了します。各ツールは任意の順位で終了できます。

- Update Service
- License Activator
- Data Input Console
- Diagnostics Utility
- Device Setup
- Printer Check
- ユーザー情報登録
- Job Log Analyzer
- Popup Messenger
- Paper Form Editor

アップデートインストールする

ApeosWare Management Suite の各サーバー、Web クライアント、印刷クライアントで、それぞれインストールされているソフトウェアをアップデートします。



補足

ApeosWare Management Suite をアップデートした後、Web ブラウザーで ApeosWare Management Suite の画面が正しく表示されないことがあります。このような場合、Web ブラウザーのキャッシュを一旦削除してからお使いください。

各ソフトウェアのアップデート手順

各ソフトウェアのアップデート手順は次のとおりです。



補足

下記システム構成でのバージョンアップは対応しておりません。ご注意ください。
・冗長化構成（Cold Standby 構成 / N システム構成 / ロードバランサー構成 / MSFC 構成 など）



参照

サーバー構成ごとのアップデート順序については、「オールインワン構成のアップデート順序」(P.6)、および「分散構成のアップデート順序」(P.6)を参照してください。

1. 新バージョンの DVD-ROM を挿入して、「Launcher.exe」を起動します。
2. 言語を選択するウィンドウが表示された場合は、アップデート前と同じ言語を選択して、[OK] をクリックします。
3. [ApeosWare Management Suite] ウィンドウの [機能別一覧] または [ツール一覧] から、アップデートするソフトウェア名をダブルクリックします。
4. 以降は、画面の指示に従ってアップデートインストールを実施します。



補足

通常は OS の再起動は必要ありませんが、アップデートインストール中に OS の再起動を要求するメッセージが表示された場合は、必ず OS を再起動してから次のソフトウェアをアップデートしてください。

オールインワン構成のアップデート順序

オールインワン構成の場合のアップデート順序は、次のとおりです。



補足

Sentinel RMS License Manager for FX は、ApeosWare Management Suite と弊社のほかのソフトウェアのライセンスを管理します。

Sentinel RMS License Manager for FX がライセンスを管理する弊社のほかのソフトウェアをインストールしたままにする場合は、Sentinel RMS License Manager for FX をアンインストールできません。

Sentinel RMS License Manager for FX のアンインストールは、任意のタイミングで実施してください。

Sentinel RMS License Manager for FX は、ほかのソフトウェアで使用していないことを確認してから、次の手順でアンインストールしてください。

1. [コントロールパネル] を開いて、[プログラム] > [プログラムと機能] をクリックします。
2. インストールされているソフトウェアの一覧で、「Sentinel RMS License Manager for FX」を選択し、[アンインストール] をクリックします。
3. アンインストール開始の確認メッセージが表示されたら、[はい] をクリックします。アンインストールが開始されます。処理が終了すると、完了のメッセージが表示されます。
4. [完了] をクリックします。

1. メインサーバーのソフトウェアを、次の順序でアップデートします。
 - (1) ApeosWare Management Suite をアップデートします。
 - (2) Update Service をアップデートします。
 - (3) Flow Management Option をアップデートします。

分散構成のアップデート順序

分散構成の場合のアップデート順序は、次のとおりです。設置しているサーバーに応じて実施してください。設置しているサーバーに応じて、必要な手順を実施してください。

1. メインサーバーのソフトウェアを、次の順序でアップデートします。
 - (1) ApeosWare Management Suite をアップデートします。

(2) Update Service をアップデートします。



メインサーバーをアップデートすると、データベースサーバーが自動的にアップデートされます。

2. プリントアプリケーションサーバー、プリント入出力サーバー、リモートレポートサーバー、リモート OCR サーバー、またはリモートモバイルサーバーのソフトウェアを、次の順序でアップデートします。

■ プリントアプリケーションサーバーがある場合

(1) Print Application Server をアップデートします。

(2) Update Service をアップデートします。

■ プリント入出力サーバーがある場合

(1) Print Input/Output Server をアップデートします。

(2) Update Service をアップデートします。

■ リモートレポートサーバーがある場合

(1) リモートレポートサーバーの SSRS (SQL Server Reporting Services) をアップデートします。

■ リモート OCR サーバーがある場合

(1) Remote OCR Server をアップデートします。

(2) Update Service をアップデートします。

■ リモートモバイルサーバーがある場合

(1) Remote Mobile Server をアップデートします。

(2) Update Service をアップデートします。

3. フローサーバーのソフトウェアを、次の順序でアップデートします。

(1) Flow Management Option をアップデートします。

(2) Update Service をアップデートします。

ツールのバージョンアップ方法

次のツールがインストールされている場合は、次の作業を実施してバージョンアップしてください。

Paper Form Management がインストールされている場合

1. 「フォーム解析データ共有ツール」を使って、旧バージョンのフォーム解析データをエクスポートします。



「フォーム解析データ共有ツール」については、『機能ガイド Flow Management Option 編』の「8. 付録」>「付属ツールについて」を参照してください。

2. 旧バージョンの Paper Form Management をアンインストールします。

3. 新バージョンの Paper Form Management をインストールします。

4. 手順 1 でエクスポートしたデータを、「フォーム解析データ共有ツール」を使って、手順 3 でインストールした新バージョンの Paper Form Management の環境にインポートします。

Paper Form Editor がインストールされている場合

1. {インストール先フォルダー} ¥Paper Form Editor¥system の中の次のファイルを、{インストール先フォルダー} 以外のフォルダにバックアップします。

- ControlParts.xcp
- SystemDefinitionAttributeEN.xsf
- SystemDefinitionAttributeJP.xsf

{インストール先フォルダー} は、初期設定を変更していない場合は次になります。

-64ビット版 OS の場合

[C:¥Program Files (x86)¥Fuji Xerox¥ApeosWare MS 2]

-32ビット版 OS の場合

[C:¥Program Files¥Fuji Xerox¥ApeosWare MS 2]

2. 旧バージョンの Paper Form Editor をアンインストールします。

3. 新バージョンの Paper Form Editor をインストールします。

4. 手順 1 でバックアップしたファイルを、手順 3 でインストールした {インストール先フォルダー} ¥Paper Form Editor¥system フォルダ下のものと置き換えます。

{インストール先フォルダー} は、初期設定を変更していない場合は次になります。

[C:¥Program Files (x86)¥FUJIFILM¥ApeosWare MS]

Solution Editor、Popup Messenger、OnDemand Print Terminal、Job Log Analyzer がインストールされている場合：

(1) 旧バージョンの Solution Editor、Popup Messenger、OnDemand Print Terminal、Job Log Analyzer をアンインストールします。

(2) 新バージョンの Solution Editor、Popup Messenger、OnDemand Print Terminal、Job Log Analyzer をインストールします。



- Flow Management Option をアップデート後、初期設定のフォルダー以外を使用する場合は、『機能ガイド Flow Management Option 編』の「フォルダーを準備する」を参考に設定してください。
- ApeosWare Management Suite 2.2 にバージョンアップすると、ユーザーデータ格納先フォルダーのデータは、バージョンアップ時に指定した新しいフォルダーに移行されます。ただし、次のフォルダーは、バージョンアップ前のフォルダーを使用していた場合、バージョンアップ後もそのフォルダーがそのまま使用されます。『機能ガイド』または『機能ガイド Flow Management Option 編』を参照し、適宜、新しいフォルダーに設定してください。

- 一時保存フォルダー
初期設定を変更していない場合は、{データ格納先フォルダー} ¥Temp¥AWMS_Device_Tmp
- ジョブログファイルの保存先
初期設定を変更していない場合は、{データ格納先フォルダー} ¥joblog
- Flow Management の下記フォルダー
[フォルダー] 機能用のフォルダー
初期設定を変更していない場合は、{データ格納先フォルダー} ¥Flow Management¥folders¥input
[フォルダー保存] 機能用のフォルダー
初期設定を変更していない場合は、{データ格納先フォルダー} ¥Flow Management¥folders¥output
[文書属性の対応表出力] 機能用のフォルダー
初期設定を変更していない場合は、{データ格納先フォルダー} ¥Flow Management¥folders¥attrtable
- ファイルインポートしたファイルの格納先
{データ格納先フォルダー} ¥User Management¥Import

{データ格納先フォルダー} は、インストール時に指定します。初期設定を変更していない場合は、{インストール先ドライブ} ¥Fuji Xerox¥ApeosWare MS 2 です。

ファイルインポートしたファイルの格納先を変更するには、ファイルインポートを実行します。『機能ガイド』の「インポートスケジュールを作成する (ファイルインポート)」を参照してください。